

## 報 告

### 結核終息に向けた東京タワーライト・アップによる啓発活動

(特活) ストップ結核パートナーシップ日本は、「結核のない世界」を目指して、東京タワーを9月26日に結核のシンボルカラーである赤に点灯、それに合わせて東京タワーで啓発活動を実施した。点灯式には、秋篠宮紀子妃殿下にご臨席を賜り点灯ボタンを押して頂いた。ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟から高階恵美子副会長よりご挨拶を賜った。

#### 背 景

9月24日～30日は結核予防週間、「結核に関する国連総会ハイレベル会合」(UNHLMTB)が9月26日にニューヨークの国連本部にて日本を共同議長として開催。結核終息の目標を現実のものとするべく対策を次のステージに押し上げる重要な転換点であった。

#### 趣 旨

コミュニケーション

1. 国内外の結核問題の認知向上、興味・関心の醸成、結核の正しい知識の普及。
2. 国内外の結核終息へ向けた動きへの賛同を示す。
3. 結核患者さん、元結核患者さん、結核にかかわるすべての人々への応援を示す。

#### その他

日本の結核にかかるステークホルダーが、国内外の結核終息に向けて、団結して努力していること、国連総会ハイレベル会合後の次のステージに向けての結束を示す。

#### 成 果

- ・ UNHLMTB、結核予防週間と関連付けた東京タワーイベントの報道(9/26 NHK 首都圏ニュース 845、BS日テレ深層 NEWS 9/26 10:00-11:00 生放送で特に国内結核の課題について1時間特集された)により、国内外の結核問題や結核終息へ向けた動きへの認知向上、結核の正しい知識の普及啓発の一助となった。
- ・ Stop TB Partnership(ジュネーブ)などへの発信をし、Twitterで多く拡散された。STBP、台湾CDCをはじめ、海外からも多くの賛同を得、結核終息へ向けた動きへの日本からの賛同を示すことができた。
- ・ JICAのTwitter(日/英)とFacebook、外務省、厚生労働省のTwitter、結核ボランティア大使JOY氏のTwitterではイベントの告知と事後として開催の様子を発信していただいた。また、東京タワーではHPとTwitterにおいてイベント情報や結核の正しい知識を発信いただいた。多くの方と情報を共有、そしてイイネを頂いた。特にSDGsや国際協力に興味を持つ方々との繋がりを持つことができた。
- ・ UNHLMTBという結核対策における重要な転換点において結核にかかるステークホルダーの意識を高め、結束を深める一助となった。
- ・ 秋篠宮紀子妃殿下には、宮家の指示により企画書を提出したところ、ご自身の希望により、点灯式にご臨席を賜り、結核終息に向けた点灯ボタンを押して頂くことができた。

## 概要

### 東京タワー レッドライトアップ

点灯日 : 2018年9月26日(水)

点灯時間 : 17:30~23:00

点灯色 : ダイヤモンドヴェール レッド

主催 : (特活) ストップ結核パートナーシップ日本

協賛 : 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

後援 : 厚生労働省、外務省、(独) 国際協力機構、(公財) 結核予防会

(公財) 日本国際交流センター、(特活) アフリカ日本協議会、(特活) 日本リザルツ

協力 : 東京タワー、(公財) 結核予防会

## ○点灯式

日時 : 2018年9月26日(水) 17:00~17:45

会場 : The Place of Tokyo 6F The Music Place

東京都港区芝公園3丁目5-4

参加者 : 50名

(ストップ結核ジャパンアクションプラン関係4社、元患者さん、関係NGO、企業、メディア)

## 点灯式プログラム :

開始 17:00

### 1. 主催者挨拶

ストップ結核パートナーシップ日本事務局長 田中慶司

### 2. 来賓挨拶

ストップ結核パートナーシップ推進議員連盟 高階恵美子 議員

### 3. 挨拶 (順番未定)

厚生労働省 三宅 邦明 結核感染症課長

(独) 国際協力機構 瀧澤 郁雄 人間開発部次長

外務省 紀谷 昌彦 国際協力局参事官

(公財) 結核予防会 工藤 翔二 理事長

### 4. 結核シールぼうや、ノッポン弟(東京タワー ゆるキャラ)による啓発

### 5. 点灯 17:30 結核予防会総裁 秋篠宮紀子妃殿下

### 6. 出席者による一言リレー (代表 元患者 福岡俊弘、日本BD 瀬野 誠 )

### 7. 閉会挨拶

ストップ結核パートナーシップ日本代表理事 森 亨

## ○啓発活動

結核に関する資料とリボンを配布。「イイネ」と思ったら、リボンをシール坊や(結核のゆるキャラ)の持つボードに貼って頂いた。

日 時 2018年9月26日(水) 18:00~19:00

場 所 東京タワー 2F フットタウンイベント広場

参加者 外務省、JICA、結核予防会、結核予防会結核研究所、保健師、関係NGO、企業、メディア

来場者 約300名

NHK NEWS WEB 9/26/2018



## 東京タワーを赤にライトアップ 結核への注意呼びかけ

2018年9月26日 20時48分

世界で最も死者が多い感染症である結核について、国内でも注意を呼びかけようと、東京タワーを結核対策のシンボルカラーの赤にライトアップする催しが行われています。

この催しは、26日にニューヨークの国連総会で結核についての首脳会合が開かれるのに合わせ、日本のNPO法人が開いたものです。

点灯式には、結核予防会で総裁を務める秋篠宮妃の紀子さまも参加され、カウンタダウンに続いてボタンが押されると、東京タワーが少しずつ結核対策のシンボルカラーの赤にライトアップされました。

また、タワーを訪れた観光客には、「せきや微熱などかぜに似た症状が長く続く場合は注意」など、結核についての注意点が書かれた冊子も配られました。

結核は途上国を中心に年間170万人が死亡する世界で最も死者が多い感染症で、日本でも高齢者などの感染が多く、今年間およそ2000人が亡くなっています。

冊子を受け取った30代の男性は「周囲でも結核の話が聞きます。自分も感染に注意したい」と話していました。

「ストップ結核パートナーシップ日本」の森亨代表理事は「こうした活動を通して、結核はまだ終わっていないと知ってほしい」と話していました。

